

# けんびょうしん

No.24

地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院 平成23年4月20日発行 第24号  
ホームページアドレス <http://www.tajimi-hospital.jp/>

■発行責任者／原田 明生

■編集／地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院広報委員会

## 地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院の基本理念

### 基本理念

安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。

### 行動指針

- 1 わかりやすい言葉で分かりやすく説明します。
- 2 安全を何度も確認することを怠りません。
- 3 常に高度先進医療を取り入れ、最新・最高の医療を目指し自己研鑽に努めます。
- 4 倫理観に基づく医療人としての誇りと自覚をもって取り組みます。
- 5 健全経営に努めます。



桜の開花とともに今年もまた新しい年度が始まりました。しかし今年は未曾有の大災害に見舞われて日本全体が大きな試練に直面しています。こんな時こそ被害の少なかつた私たち一人ひとりが今まで以上にしっかりと自分の足元をみつめ、それぞれの生活基盤で着実に成果を積み重ね、社会全体を支援して行く必要があります。

県立多治見病院は昨年発足した地方独立行政法人として5年ごとの中期目標の2年目に入ります。昨年度を振り返りますと、地域の皆さんのがんえと職員の頑張りのおかげで初年度として多くの成果をあげることが出来ました。新病棟は順調に稼働、患者さんにも大変好評で高い入院稼働率を維持しています。6月には待望の緩和ケア病棟がオープンし、伊藤浩明部長を中心とした専門スタッフの献身的努力によって、地域全体の緩和医療の連携が前進しています。3月末には長年の懸念だつた駐車場整備がようやく完成しました。これによつて患者さんやご家族の利便性が格段に改善できたと思います。ボランティアの方の数も様々になります。またすべての基盤となる経営についても、患者数の増加や診療内容の充実による增收に加え支出の削減努力も改善してきています。しかしながらなんといつても一番大きな成果は職員の意識が大

# 新年度を迎えて～県病院から元気を発信します！！～

## 昨年度を振り返って

## 今年度に向けて

きく変わったことで、よく言われる公立病院の親方日の丸的な体質から脱却しつつあることを実感しています。

しかし一方でまだまだ多くの事が課題として残っています。また刻々と変化する新たな状況にも的確に対応していくねばなりません。

まず設備面では今年度前半で新しく内視鏡室、点滴室、中央採血室を移転、整備します。また機器の老朽化に対応するため、今後2年がかりで最先端の放射線治療装置導入を計画しています。それに向けて専門スタッフの確保、研修を行います。

病院の大きな柱である地域連携については、4月から新しく地域医療連携センターを開設し、今まで以上にきめ細かい連携をめざします。地域の各医療機関の皆様にますます利用していただければ幸いです。

今年は医師、看護師など例年より多い80名以上の方が新しく病院職員に加わっていました。これからこの病院を支えていた

だく大事なスタッフです。若く新しい人材を暖かくも厳しく育て、病院のさらなる活性化につなげていきたくと考へています。



平成23年4月

理事長兼院長  
原田 明生

# 新駐車場・2階屋外テラスのご案内

平成23年3月末に新しくオープンした新駐車場・2階屋外テラスは、平成22年3月に先行オープンした新病棟（中病棟・西病棟）と共に「県立多治見病院 耐震病棟整備事業」の一環として、整備したもので

## 新駐車場

病院南側・土岐川沿いに340台分の外来駐車場（以下、「新駐車場」という。）を新設、北側の既設駐車場も再整備し、合計500台の駐車場が完成しました。これに伴い、両駐車場には課金システムを導入、4月1日から有料駐車場となりました（料金は別表のとおり）。

身障者用駐車スペースとしては、正面玄関前に11台、新駐車場東端に6台、新駐車場に面した副玄関近くに6台（この6台は、妊娠や高齢の方も利用できます）を確保しています。

新駐車場は入口を東側（土岐川上流部）に配置し、駐車場進入時の導入路を確保することにより、周辺道路の渋滞緩和を図りました。また、整備にあたっては、新病棟との一体感を心掛け、アトリウムやレストラントン前の歩道には、地元で焼かれた美濃焼タイルを貼っています。テラス下部の天井面には、東濃ヒノキを無塗装のまま貼り並べており、ヒノキの香りが充満しています。

さらに、30種を超える樹木を植え、緑あふれる駐車場となることを目指しました。春には堤防沿いの桜も眺められます。



駐車場料金

区分	駐車料金	無料時間
外来患者様	最初の5時間 100円 以後1時間につき 100円	最初の30分間
上記以外	1時間につき 100円	最初の30分間

\*外来患者様は、会計の際、駐車券を計算窓口に提示し割引を受ける必要があります。

\*身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳等をお持ちの方が外来受診し、それぞれ該当する手帳を防災センターで提示した場合、無料となります。

## 2階屋外テラス

新病棟2階の屋外テラスは、誰もが自由に利用できます。テラスには、井戸水を利用した小川が流れおり、水際にはアヤメ・カキツバタ・マンリョウ等が植えられています。晴れた日には、遠く恵那山も見える眺めの良いテラスで、リラックスした時間を過ごしていただければと思っています。テラスには、新病棟2階情報コーナーからも出入りすることができます。



## おわりに

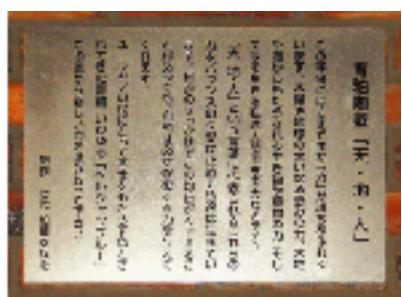
昨年オープンした新病棟では、「居場所の選択性」というテーマを掲げ、病棟の各所に「談話コーナー」等の病室以外の居場所を数多く設置しました。今回新設したテラスや駐車場にもベンチや木陰、土岐川への散策路といった、小さな仕掛けを盛り込んでいます。駐車場を利用する方のみならず、入院中の患者様や付き添いの家族の方々にとつても、息抜き・気分転換の場になることを願っています。

## 青釉陶壁「天・地・人」のご紹介

新病棟1階のアトリウムには、多治見市在住の陶芸家、七代加藤幸兵衛先生制作の青釉陶壁「天地人」が飾られています。

幸福の色であるペルシャンブルーの陶板が飾られたことで、患者様やご家族の方の憩いの場としてのアトリウムが、より一層居心地の良い空間になりました。

加藤先生は、皆様に「勇気とエネルギーを与えられたら幸いです。」と語つていらっしゃいます。



## 被災地へ職員を派遣

県立多治見病院では、3月11日の東北地方太平洋沖地震を受け、同日に災害派遣医療チーム（D M A T）を茨城県に派遣し、2日間にわたり緊急搬送業務による救命活動を行いました。その後、3月21日からは、医師・看護師・薬剤師等で構成する医療支援チームを宮城県に派遣し、現地の医療機関が機能しておらず薬品等の供給も十分でない中、被災者のケガの治療、救急患者の処置、慢性疾患や感染症のコントロールなどにあたっています。また、4月25日から「心のケアチーム」として精神科医等を福島県に派遣し、被災地の皆様の医療支援を行っています。



DMATによる緊急搬送の様子

本年四月一日に採用され西四階病棟に勤務している鷹見千春さんが、多治見看護専門学校在校中に応募した全国看護学生作文コンクール（厚生労働省、日本看護協会ほか後援）において、最優秀賞を受賞しました。作文のテーマは「私と看護」で、実習における患者さんとの出会いの中での忘れられない言葉や心と心のつながりの大さなどをつづったものとなっていました。

表彰式は四月二九日にさいたまスパークリーナで開催される「看護フェスティバル二〇一一」の会場にて行われます。

## 全国看護学生作文コンクールで最優秀賞

おむつコーナー設置しました

中央診療棟1階の院外処方箋発行コーナー裏におむつ交換台2台を設置しました。どうぞご利用ください。



ご寄附ありがとうございます

西尾信元様から当院の整備のため、20万円をご寄附いただきました。心から感謝申し上げます。



小川博順様から車椅子1台をご寄附いただきました。心から感謝申し上げます。



# 外来迅速検査について——臨床検査科

外来受診の患者さまでは、中央採血室にて採血後、検査結果が出るのを待つてから診察をされることが多いと思います。皆さんから採血された血液がどのような流れで検査されているか御紹介します。

検体を採取する試験管は、検査の用途に応じて使い分けられています。通常血液は放置しておくと固まってしまうので抗凝固作用のある薬剤を添加したものや、目的成分が変化しないように予防する薬剤を添加したものなど、多くの種類があります。そのため何本も採血された経験があるかと思いまます。通常、各試験管に数ml程度を採血しますが、約20mlの血液があれば、ほとんどの検査が可能です。（ちなみに成人男性の献血量の20分の1の量ですから貧血の心配はありません。）

採血された検体は、3階の検査室までリフトで上げられます。

検体は順次、各検査部門へと振り分けられ受付処理をした後、検査が開始されます。表に示したように検査に用いる血清・血漿などの上清を得るために、必要に応じて遠心分離（写真1）を行います。（約5～15分）

検査の多くは（ホルモン、腫瘍マーカー、感染症マーカーなど特殊な検査を除く）、高速・大量処理可能な分析装置（写真2）により測定します。また顕微鏡で細胞の数や細胞の分類を肉眼で行う検査もあります。異常データ等がないこと



写真2



写真1

を確認した後、順次結果を送信します。（約15～30分）このように検体到着後、結果が出るまでには最低でも約30分は必要です。採血から40分以内に結果報告できるよう心がけておりますが、検体の集中や、機器のトラブル、異常データによる再検査等により遅れる場合や、再度採血をお願いする場合がありますので御理解いただきますようお願いいたします。

## 看護部から

理事 兼副院長 兼看護部長  
糸川 邦子



3月11日におきました、東北地方太平洋沖地震で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。看護部でも11日にD.M.A.Tとして2名の看護師、21日に2名の看護師が宮城県の被災地へ医師、薬剤師、事務職とチームを作り支援に参りました。今後も被災地医療支援及び、心のケアチームとして出発する予定にしております。

看護部ではいつ起こるかわからない災害に備えて、災害支援ナースの研修を受けており、今回も受講者で

一緒に働いてくださる方是非ご一報ください。お待ちしております。

してまいります。この度は、わからぬ災害に備えて、災害支援ナースの研修を受けており、今回も受講者で

看護職員  
随时募集をしています。



士気の高い人達が参加しております。このように、院内のみに留まらず、地域など看護力の必要な所へは出向いていきたいと思っています。

さて、平成23年4月から看護部に51名の新規採用者を迎えることができました。

多治見病院を選んでくれた人達と、看護部の理念にも掲げてあるように「その人らしい生活の実現に向かえた勤務体制、院内保育の充実等働きやすい職場作りを念頭に置き看護部の運営に当たりたいと考えています。

また、看護師一人ひとりのワークライフバランスを考えた勤務体制、院内保育の充実等働きやすい職場作りを念頭に置き看護部の運営に当たりたいと考えています。

## 編集後記

東北地方太平洋沖地震で被災された方々に、譲んでお見舞いを申し上げます。広報誌けんびょういん24号をお届けします。桜の開花と共に新しい年度が始まりました。当院も新しいメンバーを迎える新鮮な気持ちで業務に励む一方地震による被災地の状況が明らかになるにつれて、地域の基幹病院としての重要性を再確認しました。職員一同身の引き締まる思いです。皆様からのご意見お待ちしております。

# 地域医療連携センターの新設について

この度、地域の医療連携を從来以上に推進させるために、「地域医療連携センター」を新設しました。

従来、紹介患者さんの窓口となつていた医療連携室と在宅支援の退院調整と転院等の退院先相談や医療福祉相談を担当する医療相談室を統合し、職員の配置も見直し体制を強化しました。

## 地域医療連携センターの概要

地域の医療機関（医院・診療所等のかかりつけ医）は、比較的症状の軽い患者さんの診療を、検査機器や入院病床を持つ当院のような中核的病院は、重篤な患者さんの手術や検査・入院治療を行なう役割を持つています。

地域の医療機関（かかりつけ医）は、診察の結果、専門的な検査や高度な治療が必要だと判断した場合に、患者さんの病気・怪我等に最も適した医療機関を紹介します。患者さんの紹介を受けた病院医師は、かかりつけ医と病状や経過等の情報を共有し、必要な検査や治療を進めていきます。そして、ある程度病気や怪我が回復した段階において、逆に病院からかかりつけ医に、治療経過の報告とともに、今後の治療等が委ねられます。

このようにしてかかりつけ医と病院とが連携・協力して、患者

さんにとって最善となる治療を行い、より効率的・効果的な診療を行うことを『地域医療連携』といいます。

当院では、東濃地域全体での連携体制を円滑に運営するため『医療連携室』を設置し、院内外の窓口業務を行つてまいります。

## 医療連携室

- ・紹介患者さんにに関する地域医療機関との連絡調整
- ・予約紹介患者さんの受付対応
- ・医療連携に関する研修会・講習会の開催

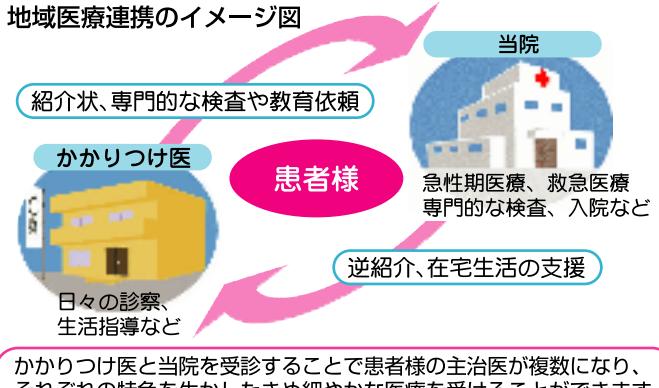
## 医療相談室

- ・病気や障害によって、生活していく上で心配なことや困ったことが生じる場合があります。当院には、そういうたずね題や、その他の様々な事について患者さんと一緒に考えていく、専門の相談員（M.S.W.・社会福祉士）がいます。例えば、①医療費や生活費が心配なとき②福祉制度や病院について知りたいとき③治療や病気について心配なとき④退院後の生活が心配なとき⑤その他、誰に相談したらいいのかわからないとき等
- ・公的医療補助制度に関すること
- ・病気や障害認定に関すること
- ・退院や退院後の療養に関すること
- ・経済的な問題に関すること

受付時間	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時	電話 0572・222・5311 (内線2225・2226)
------	----------------------	--------------------------------------

おりますので安心してご利用ください。

## 地域医療連携のイメージ図



## がん患者さん・ご家族のお話を伺います～がん相談支援室のご案内～

がん治療体験者であるピアサポーターが、「がん」についての、医療・療養・生活上の不安や、闘病の悩みなどを解消するお手伝いをさせていただきます。

お気軽にお立ち寄りください。

「ピア(Peer)」とは“同じ立場”  
「サポート(Support)」とは“支える、援助する”という意味を持ちます。

受付日……火・水・木曜日

受付時間……午前10時から12時  
午後 1時から 3時

場 所……中央診療棟1階  
がん相談支援室



ピアサポーター  
西尾 守さん

# 外来診療表

平成23年5月9日現在

診療科目	初診・再診別	月	火	水	木	金	診療科目	初診・再診別	月	火	水	木	金	
内科	消化器内科	佐野	西	安藤健	上野	吉村至	精神科	初診	高田	高田	中村博	マイケル	中村博	
		安藤健	夏目	—	西江	佐野		再診	マイケル	中村博	高田	中村博	高田	
		加地	上野	吉村至	西	福定		初診・再診	中野慕	中野正	立木	中野正	立木	
	循環器内科	日比野	横井	矢島	横井	河宮		石田	荒川	中野慕	荒川	谷口		
		堀部	前川博	稻垣尚	日比野	矢島		向井	谷口	石田	三沢	向井		
		蜂矢	—	堀部	森本	森賢		[心臓]	[初再診]	[相談]	[初再診]	[神経]		
		小野	午前	【外来】	—	—		荒川	三沢	中野正	向井	濱口		
	リウマチ科	—	横田香	—	—	田中		[心臓]	[検診]	[川崎病]	[相談]	[神経]		
	腎臓内科	—	鈴木	遠藤	富田	—		向井	中野正	中野正	中野正	中野正	中野正	
	血液内科	花村	岩井	徳山	花村	岩井		熊崎	立木	【小児】	【小児】	立木	立木	
内分泌内科	小澤	—	—	—	—	—		立木	中野慕	谷口	谷口	谷口	谷口	
	佐藤斗	—	—	—	—	—		【相談】	中野正	中野正	中野正	中野正	中野正	
	近藤	小澤	佐藤斗	近藤	小澤	—		【内分泌】	アリギー	【小児】	【小児】	立木	立木	
	—	—	—	—	—	佐藤斗		中野正	【二次予防】	【小児】	【小児】	中野正	中野正	
	初診 再診	呼吸器内科	加藤久	森俊	加藤研	志津	小林	未永	伊藤淳	白石	西澤	伊藤淳	伊藤淳	
神経内科	初診	北澤	亀山	北澤	未永	中藪	外科	未岡	園原	小西	梶川	出口		
	—	—	—	—	—	—		小西	原田	出口	多代	宮嶋		
	再診	亀山	中藪	亀山	中藪	亀山		宮嶋	多代	伊藤浩	園原	未岡	梶川	
整形外科	紹介初診	水野直	高津	伊藤茂	高津	山本拓		吉田	大野	園原	【再】	—	大野	
	初診 第1・3・5週	長谷川	安藤友	熊澤	後藤	中野健		【血管】	佐藤俊	中山	【血管】	佐藤俊	—	
	初診 第2・4週	後藤	安藤友	熊澤	長谷川	中野健		—	—	松山	松山	松山	—	
	—	熊澤	伊藤茂	後藤	伊藤茂	高津		伊藤正	—	—	—	伊藤正	伊藤正	
	再診 第1・3・5週	山本拓	山本拓	中野健	安藤友	水野直		岸田	伊藤淳	西澤	伊藤淳	西澤	伊藤淳	
	再診 第2・4週	山本拓	山本拓	長谷川	安藤友	水野直		間渕	山崎	稻垣雅	山田富	成松	大森	
形成外科	更正相談	—	—	—	—	水野直		麻酔科	初診・再診	伊藤淳	白石	西澤	伊藤淳	伊藤淳
	初診・再診	吉村真	風戸	吉村真	吉村真	風戸		石川	石川	石川	石川	石川	石川	石川
眼科	初診・再診	吉村真	風戸	吉村真	吉村真	風戸		皮膚科	初診・再診	紀平	紀平	紀平	紀平	紀平
	—	【第2・4週】	—	—	—	—		泌尿器科	初診・再診	高士	桃井	高士	高士	桃井
放射線科	初診・再診	伊藤孝	—	伊藤孝	伊藤孝	伊藤孝		産婦人科	初診	竹田	中村浩	山田純	森正	井本
	—	子安	子安	—	子安	子安		再診	婦人	中村浩	森正	竹田	—	竹田
	初診・再診	小山	中原	小山	小山	小山		再診	産科	井本	—	森正	—	中村浩
	—	小山	午後	—	—	—		耳鼻咽喉科	初診・再診	富田	加藤賢	上田	森遙	加藤賢
	初診・再診	—	—	—	—	—		再診	上田	富田	加藤賢	上田	森遙	富田
	—	—	—	—	—	—		歯科	初診・再診	佐藤文	堀田	西尾	佐藤文	西尾
	初診・再診	—	—	—	—	—		再診	西尾	西尾	佐藤文	西尾	佐藤文	堀田
	—	—	—	—	—	—		口腔外科	初診・再診	堀田	佐藤文	堀田	堀田	堀田
	初診・再診	—	—	—	—	—		緩和ケア内科	初診・再診	—	伊藤浩	—	—	—
	—	—	—	—	—	—		女性外来	初診・再診	—	—	—	—	松下

■診療時間 午前9時～(診療科によっては午前8時30分～)

■休診日 土・日・祝祭日、及び年末年始(12月29日～1月3日)

※予約のない方の診療受付時間 初診・再診 午前8時30分～午前11時

※各診療科目担当医師については、都合により代診させていただく場合があります。また、異動により担当医師が変更する場合があります。

※救急診療については、救急外来受付(内線2511)まで、お問い合わせください。

## 外来診療の電話予約について

混雑緩和と利便性向上のため外来診療は予約制としております。継続して診療を受けておられる患者様には、診察時に次回の予約をしていただきます。予約を保留された場合やしばらく受診のない場合は、電話予約のうえご来院ください。

予約専用電話 0572-21-2200

電話予約受付時間 当日の予約(平日) 8:30～11:00  
翌日以降の予約(平日) 13:30～16:30

※診察券の患者番号をお知らせください。  
※診察券のない初診患者様は、電話での予約はできません。  
※診療機関からの紹介患者様については、診療機関から当院医療連携室へご連絡ください。

## 初診患者様のFAX予約について

当院の受診歴のない方でも、次の項目をFAXしていただければ予約できます。

- ①氏名(漢字とフリガナ)
- ②性別
- ③生年月日
- ④住所と郵便番号
- ⑤電話番号(折り返し連絡する電話が別の場合はその電話番号も)
- ⑥健康保険の種類・保険者名・記号・番号
- ⑦受診希望診療科名
- ⑧受診希望日時

初診予約用FAX 0572-21-1022

※折り返し電話予約センターから電話を入れます。ただし、電話予約受付開始から1時間程度は予約電話が混雑するため、すぐにご連絡できない場合があります。また、電話予約受付時間以外の時間帯にFAXされた場合は、ご連絡が次の電話予約受付時間内になります。  
※FAXで予約された場合でも、初めてご来院されたときに診療申込書の記入と保険証の呈示が必要です。



環境にやさしい古紙100%の  
再生紙と大豆油インキを使用しています

この広報紙「けんびょういん」は当病院ホームページでもご覧頂けます。  
URL http://www.tajimi-hospital.jp/